

(お知らせ)

平成 20 年度 化学物質の環境リスクに関する国際シンポジウム
(第 11 回化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム、
第 7 回小児等の環境保健に関する国際シンポジウム) の開催について

1 開催目的

今日の社会では、産業活動や日常生活の中で多種多様な化学物質が利用されると共に、廃棄物等の焼却などにより、意図していない化学物質が発生することがあります。これらの化学物質は、現在の豊かな経済活動や国民生活を支える一方で、環境汚染をもたらす、人の健康や生態系に悪影響を及ぼすおそれ(環境リスク)を生じさせています。

環境省は、環境リスクを科学的に評価し、その低減を図るために様々な取組を行っています。本シンポジウムは、その一環として、化学物質の内分泌かく乱作用や小児や胎児の発達・発育への悪影響など、環境保健分野における諸課題について、国内外の正確な情報を市民、産業、行政等の全ての者が共有し、相互に意思疎通を図ることを目的として本シンポジウムを開催します。

2 日 程 平成 20 年 12 月 14 日(日) : シンポジウム
未来に翔く子どもたちのために一子どもの環境保健一

平成 20 年 12 月 15 日(月) : 国際セッション
セッション 1 化学物質等の環境因子とアレルギーに関する研究の
最前線について
セッション 2 小児環境保健に関する疫学調査—世界各国で進めら
れる疫学調査—
セッション 3 化学物質の内分泌かく乱作用に関する取組と今後の
展望について

※セッションタイトルは変更となる可能性があります。

3 会 場 東京ビッグサイト (東京国際展示場)
東京都江東区有明 3-2 1-1

4 これまでの国際シンポジウムについての情報
URL <http://www.env.go.jp/chemi/end/index3.html>